科目名	数量的処理Ａ（基礎数学）　　Quantative Processing A: Basic Mathematics						
科目担当者	齊藤 芳一　　SAITO Yoshikazu						
単位数	２	配当年次	１年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　総合講座］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　総合講座］					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	公務員試験や SPI などの就職試験では、数学の力がある程度求められます。数学に関する問題（数的処理）が比較的多く出題されていますので、合格するためには数学が不得意な人も避けて通ることはできません。この講座では、数学が不得意な人やその内容を忘れてしまった人でも、公務員試験や就職試験に対応できる数学の力が身につくように、数学検定３級の模擬テストを教材にして、計算や方程式、図形、統計、確率などの数量的処理の基礎を丁寧に確認しながら学習を進めていきます。この学習内容は、数量的処理 B・C の学習にも関連しますので、その基礎固めを行います。						
授業の到達目標	①数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得する。 ②問題を解決するために必要な数学的な思考力，判断力を身につける ③数学と実社会との関連についての理解を深め、数学的に考える資質・能力を身につける。						

授業計画・内容		
	1	オリエンテーション　式の変形（等式、不等式の性質）
	2	１次方程式，１次不等式，連立方程式の解法
	3	連立方程式、２次方程式の解法、平行線と円の性質
	4	方程式の応用（文章題）
	5	統計、整数、確率
	6	図形問題
	7	方程式の応用（文章題）
	8	総合演習とまとめ、小テスト１
	9	統計、整数、数列
	10	図形問題
	11	方程式の応用（文章題）
	12	場合の数
	13	確率
	14	総合演習とまとめ、小テスト２
	15	場合の数と確率

授業外学修 (事前学修)	必ず予習をして授業に臨んでください。しっかり自分で考え、解ける問題と解けない問題を明確にしておきましょう。（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	演習が大切ですので、課題や小テストにしっかり取り組んでください。 出された課題は自分の力で解いて、次の授業開始前までに送信（提出）してください。 （毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験	60%	①、②、③
	課題の提出	30%	①、②、③
	小テスト	10%	①、②、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	西岡 康夫『改訂版 数学検定３級合格問題集』新星出版社
参考文献	なし
その他	１年次に履修することが望ましい。